

万里夢

NPO・えん ニュースレター “まりーむ”

NPO・えんは、まちづくり・女性のキャリア実現・市民活動をサポートします。

NPO活動・市民活動にフェミニスト視点を

私がNPO・えんという団体の運営に関わるようになって（途中数年のブランクはあるが）10年経つ。もともとは20代後半に「フェミニズム」に目覚めた私が様々なイベントや学びの場に顔を出しているときに知り合った一人の女性が当時えんのスタッフで、そういうことに興味があるならばボランティアで手伝いに来ない？と誘われたのが始まりだ。その後2年強の留学期間をはさみ、帰国したばかりの私は当時の代表理事にご挨拶をと、事務所を訪れ、その場で「採用」され今に至るといふわけだ。

この10年で、えんの活動ドメインは当初の市民視点・コミュニティ視点で課題を解決していくお手伝い（中間支援）から、地域福祉・コミュニティ活性化のプレイヤーとしての活動が中心に変化はしてきたが、目の前の社会課題に対し「できることは何か」を常に考え、活動してきた姿勢は変わっていないように思う。

私のお気に入りのTシャツには紫の文字で「Got a right? Thank a feminist.」とプリントされている。「権利がある？フェミニストに感謝してね」という意味だ。過去に誰かが「こんなおかしいぞ」と気づき、声を上げ、時に戦い、権利を手に入れてきた活動の延長に私たちの生活があることをこのメッセージは教えてくれる（なお、このメッセージの考案者は当時20代前半の私の同級生であって有名人ではない。念のため）。

昨年改訂版が発行された広辞苑のフェミニズムの定義が「間違っている」と批判され、見直すこととなったことは記憶に新しい（2017年1月の改訂版についても批判の余地はあるのだがここでは省略する）。フェミニズムは「女性の権利」だけを主張しているわけではないことは明らかではあるが、そのことすら広く浸透していないことはとても残念に思う。ジェンダーのみならず、人種（民族）、セクシュアリティ、階級、障がいの有無など多様性を理由に選択を狭められたり、社会から排除されることのない社会はどうしたら実現できるか。また、そのためには、違いを超えて連帯（ソリダリティ）し、動くこと（時に制度と戦うこと）。それが私にとってのフェミニズムの定義である。

NPOや市民活動に携わるうえで、フェミニスト的な視点は本来もっと見直されるべきではないだろうか。自分の利害関係のみにとらわれず多様なコミュニティのメンバーを尊重しあう社会を作る。これこそがこれからのNPOに必要な視点だと考える。

理事 藤原晴子

目次

理事・スタッフご挨拶	1
多世代交流ひろば「パルひろば辰巳」報告	2
NPO・えん 自主事業報告	2
活動報告「東京ホームタウン大学分科会報告」「研修会報告」	3
NPO・えんの活動報告・予定	4

第19回定期総会開催のお知らせ

●日 時： 6月2日（土）午後（時間未定）

●会 場： パルひろば辰巳

会員の皆さまへは5月にご案内をお送りします。

多世代交流ひろば事業

パルひろば辰巳の

開催企画のご報告

パルひろば辰巳では辰巳地域の皆様の多世代交流の場の提供のため、様々な取り組みを行っています。3月は東日本大震災を教訓に「防災クッキング」を開催しました。そのほか定期的に体操や歌など利用者が参加できる楽しい企画を開催しています。

●防災クッキング（3月13日開催）

ガスや電気などライフラインが止まったら。そんな「いざというとき」のために「ポリ袋で作る料理」を開催しました。食材を切ってポリ袋にいれそのまま鍋で暖めるだけでポトフや炊き立てご飯を作りました。これならカセットコンロだけでも調理ができます。参加者からは「美味しかった。被災したときに暖かいものが食べられるのは力になると思う。」「食材を切るだけなので手間がかからない。」「洗い物がでないので給水制限のときに助かる」などの声がありました。そのほか江東区で配布している非常食も試食しましたが、みなさん思っていたよりも美味しいとの感想でした。そのほか家で備蓄した水や非常食をどのように日常の中で消費していくかなど参加者同士での意見交換がありました。

これまでパルひろば辰巳では「オレオレ詐欺防止」「終活」など話題になった内容を取り上げ地域の方へ情報発信をしてきました。今後もタイムリーな話題を取り上げていきます。

お陰さまで今年度もパルひろば辰巳には小さなお子様連れから高齢者まで5,000名以上の方に利用いただいています。そして新しい試みとして4月から地域の方がいつでもふらっとひろばに立ち寄れるよう、**月曜と水曜日は10時～16時までをフリータイム**としてひろばを開放します。今まで活動していただいていたサークルは3階の会議室を利用していただきます。「ほっとできる。ふらっと行ける。パルひろば辰巳」としてどんな出会いがあるか楽しみです。



自主事業

えんカレッジ開催報告

- 1/18（木）内面から美しくなる話し方
講師：鈴木 紀子さん（フリーアナウンサー 日本語講師）
 - 2/1（木）女性のための個人事業主の確定申告
講師：黄 民愛さん（税理士）
 - 3/2（金）大人のためのフェイスブック講座
講師：松延 健児
- 以上、合計3つの講座を開催し、約50名の方が参加しました。

オレンジカフェ開催報告



於：多世代交流ひろば「パルひろば辰巳」

- 2/8（木）14時～16時
1部「成年後見制度について知ろう！」
講師：江東区権利擁護センター職員
2部「音楽で認知症予防 ～オカリナサロン～」
講師：山本 千恵子さん（オカリナ講師）
1部では、認知症に備えるための手段として、成年後見制度ではどのような支援が受けられるのか、どこに行けばいいのか、利用する立場から分かり易い説明がありました。
2部のオカリナサロンでは、音楽が脳に与える良い影響について講師から説明があり、後半はオカリナ演奏によって会場全体がゆったりと暖かな雰囲気になりました。
- 3/17（土）14：00～16：00
～認知症予防を含めた健康寿命を延ばすために～
講師：和田 奈美佳さん（健康管理士、フリーキャスター）
運動、食事、睡眠という3つの側面から普段の生活で健康に対する意識を高めることの大切さを参加者と一緒に考えました。日本人の平均寿命は、2016年男性80.98歳・女性87.14歳
対して、健康寿命は2016年男性72.14歳・女性74.29歳。健康寿命を延ばすことが今、必要とされています。

NPO・えんでは次年度も地域福祉関係機関他専門家の方々と連携し、主に認知症予防を目的としたオレンジカフェの開催を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

東京ホームタウン大学～東京ホームタウンプロジェクト2017総括イベント～分科会に参加しました。

2月24日(土)明治学院大学にて東京都福祉保険局主催「東京ホームタウン大学」が行われました。当日は1限目：山崎亮氏(コミュニティデザイナー)による基調トークライブ、2限目：地域活動団体による分科会、3限目：懇親会といった構成で進行し、NPO・えんは分科会2の「認知症と向き合う・支えあう」に参加、会場は約30名ほどの参加者でほぼ満席でした。

当日登壇したのは、えんを含めた3団体。武蔵村山市から「武蔵村山少年少女合唱団」大田区から「NPO法人オレンジアクト」。いずれも「東京ホームタウンプロジェクト※」に参加し、FBページ制作やマーケティングリサーチなどプロボノワーカーの支援を受けた団体です。それぞれ、高齢者施設への慰問活動や、20代～40代といった若い世代への認知症に対する啓発など地域に根ざした活動

をされています。3団体からのプレゼン終了後には取り組みを始めるきっかけや財源に関してなどの質問が飛び交いました。さらに、参加者同士の交流タイムも設けられていて、1時間半のプログラムが短く感じられる充実した内容でした。なお、当日の様様については後日詳しいレポートが「東京ホームタウンプロジェクト」のウェブサイトで開催される予定です。

*「東京ホームタウンプロジェクト」とは、～いくつになってもいきいきと暮らせるまちをつくる～をキャッチフレーズに地域包括ケアシステムの構築を目標としたプロジェクト。

①地域の団体やNPO支援、②中間支援団体をサポート、③多様な地域活動を発信、などを主な取り組みとしています。



役員・スタッフ研修会 橋谷能理子氏「伝わる力」開催報告



3月7日に開催されました橋谷能理子さんの研修会に参加しました。事務局スタッフ、理事を含め8名が参加し、キャスターの橋谷能理子さんから、コミュニケーション「伝わる力」について、グループワークを入れながらお話を伺いました。お話しの中で、橋谷さんが使われていた「ラポール(信頼関係)」という言葉が特に印象的でした。相手に心を開かせることにより、多くの情報を得ることができるというこ

とです。そのためには、傾聴が有効ということで、短気な私は日ごろから相手の言葉にかぶせてしまっており、大変耳が痛いお話しでした。ちなみに、良い傾聴は、相手の姿勢にあわす、相手の話し方にあわす、相手の話の内容を要約して返すことだということです。

また、東京オリンピック招致のプレゼンテーションを事例に、どのような部分が効果的であったかのポイントを説明されました。この中で、リーダーに必要なこととして、「強さ」、「慈愛」、「ユーモア」の3点を挙げられましたが、私はここに「誠実さ」を付け加えたいと思います。

現代はスマホなどのツールが発達し、ますます速く正確に伝える力、コミュニケーション力が必要になってきています。今回の研修会は、自分のコミュニケーションの問題点を考える良い機会になりました。研修で伺ったコミュニケーション技術を活用し、自分の言いたい事をもっともっと正確に伝えることができると思いました。(理事 阿部名保子)

NPO・えん第72回理事会報告

「NPO・えん第72回理事会」は2018年3月7日（水）、役員4名の出席を得て、NPO・えん事務所において14時より開催されました。「報告事項」として（1）事業報告、（2）パルシステム東京との契約について、「協議事項」として（1）次回総会・理事会日程について協議し、14時50分に無事に閉会しました。



編集だより

先日待ちに待った我が子の保育園の卒園式がありました。花粉症と感動的なセレモニーで多く保護者が涙鼻水まみれのなか、なぜか笑いの止まらない私。10年の長きにわたる保育園への送迎があと半月で終わると思うと、開放感で顔がずっとニヤけてしまいました。連れ合いの送迎分を除いて朝夕でざっと3000回は保育園の門をくぐった計算です。自分の学校生活、社会人生活でもこれほど多くの回数訪れた場所はありません。今はやり切った感だけですが、きっと最終日には気が緩んで号泣するでしょう...（F）

NPO・えんは、こんな支援ができます！

●女性のためのキャリアサポート

「えんカレッジ事業」を始め、女性のキャリアづくりのお手伝い。

●まちづくりのサポート

地域の多世代交流ひろばの企画運営、市民労働への提言活動、NPO・企業・行政のネットワークづくりの推進など、さまざまなまちづくり支援。

●NPOのサポート

NPOやワーカーズ・コレクティブ立ち上げのサポート。NPOやCBに関するセミナーの企画、開催など。

NPO・えん 会員募集中

■年会費：個人 1口3,000円（何口でも）団体 1口3,000円（2口以上）

お振込み先：ゆうちょ銀行 口座番号00190-3-61621

中央労働金庫 亀戸支店 5339909

口座名：特定非営利活動法人エヌピーオーえん

■NPO・えん会員状況（2018年4月1日現在）会員数59名〔正会員数24名/準会員数35名（内団体2）〕

■ボランティアも募集しております。詳しくは事務局まで。

編集/発行 特定非営利活動法人 NPO・えん

〒135-0053 江東区辰巳1-1-34

TEL & FAX: 03-3522-0302

e-mail: npo-en@npo-en.com

www.npo-en.com

www.facebook.com/npo.en.japan

https://twitter.com/npo_en



NPO・えんの活動

活動報告

1月	5	万里夢76号発行
		パルひろばイベントカレンダー 発行*
	12	元気サロン*
	18	えんカレッジ（話し方）
	19	椅子ヨガ*
	22	まごころ食事会*（雪のため中止）
	26	ママヨガ*
2月	29	うたの広場*
	1	パルひろばイベントカレンダー 発行*
		えんカレッジ（確定申告）
	2	元気サロン*（雪のため中止）
	6	まごころ食事会*
	8	オレンジ（認知症）カフェ
	16	イスヨガ*
	17	暮らしの相談室*
	23	ママヨガ*
	24	東京ホームタウン大学分科会発表
3月	26	うたの広場*
	27	コミュニティワーク連絡会定例会
	1	パルひろばイベントカレンダー 発行*
	2	元気サロン*
		えんカレッジ（Facebook活用）
	7	第72回理事会・研修会
	9	ママヨガ*
	12	下町支え合い会議（江東区協議体）
	13	防災クッキング*
	16	イスヨガ*
17	オレンジ（認知症）カフェ	
活動予定		
4月	1	万里夢77号発行
		パルひろばイベントカレンダー 発行*
	13	元気サロン*
	20	イスヨガ*
5月	1	パルひろばイベントカレンダー 発行*
	10	第73回理事会
	11	元気サロン*
	15	まごころ食事会*
	22	えんカレッジ（話し方&ヨガ）
	24	コミュニティワーク連絡会総会
6月	25	ママヨガ*
	1	パルひろばイベントカレンダー 発行*
		元気サロン*
	2	第19回定期総会
	15	イスヨガ*
	22	ママヨガ*
29	えんカレッジ（スマホで写真撮影）	

*は、パルシステム東京の受託事業です